



ゆたかり
伸びやかに振る

がんとうしょうぎようのじよ

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の

倣書で書いています。

書は行書の筆意を帯びた楷書。

点画の間は軽妙な細い線で、

ゆたかりとしていて、粘り、抑揚がある。

こゝろてん
湖影天より浄し

湖水の清きこと、空の色より美しい。

(范仲淹の詩)